13 期子どもマイスタースクール
R8(2026)年 10 月 24 日(土)

「伝統的な建物とは①」

金澤町家と「まちなみ」見学

伝統的建造物修復士の設計士、大工、畳職人から、伝統的建物の特色や、古いまちなみの特徴を解説していただきながら、まちをみて歩きました。

市役所第二方舎



校長から、見学のポイントや注意事項の説明がありました。



金澤町家といわれる建物の中でも、「町家」といわれる家の特徴を知る。



「土蔵」の特徴を知る。



「武士系住宅」の特徴を知る。



「町家」の屋根の形状は、「武士系住宅」とは、向きが反対になる。
隣の家に雪が落ちないようにするため。

⇒金澤町家情報館











KANAZAWA MACHIYA INFORMATION CENTER
金澤町家情報館

▲金澤町家情報館

❶天窓(てんまど)
明かりとりのために屋根の上に設ける、ガラス戸

❷袖壁(そでうだつ)
火災の延焼を防ぐための漆喰

❸下がり
店の中に強い日差しや雨風が入らないようにする。

❹蔀戸(しとみど)
店の窓、上下に開閉できる。











❻1階　茶の間の吹き抜け

2階までの吹き抜け、明かりとりの天窓、土壁

❼1階　奥の間の床の間

床柱は面皮柱、聚楽土の壁、障子やガラスを使った明るい部屋

❽1階　背戸(せど:金沢では庭のこと):燈籠、苔

❾2階　座敷:

壁はベンガラ色の聚楽塗り、金箔を貼った棚

❿2階　茶室:おもてなしの部屋、天井に工夫がある。

⇒里見町「こまちなみ」







▲里見町「こまちなみ」

「武士系住宅」や「近代和風住宅」が多くみられます。
庭に松が植えられ、土塀が連なるまちなみを保存しています。

⇒畳職人の家







▲江戸時代から続く畳屋さん

昔のままの「町家」に、今も住んで、生活し、仕事をしておられます。
玄関は蔀戸、居間には太い梁と吹き抜けがあり、畳を敷いてあります。玄関から茶の間へと土間が続いています。

店の仕事場も見せていただきました。
畳の縁ををつくる機械や、畳表を切る大きな包丁など、初めてみる機械や道具でした。